

着任挨拶



内科医長
鎌井 順二
日本内科学会 認定医

本年4月より着任しました内科の鎌井順二です。以前は石川県の金沢医科大学病院に勤務していました。同病院では内視鏡検査を主とした消化器領域(食道、胃、十二指腸、大腸等)を専門に従事していました。この度縁あって10数年ぶりに出身地である愛媛県に戻り、おおぞら病院で御世話になることになりました。こちらでも胃及び大腸カメラを継続して行い、外来・病棟業務、さらに訪問診療にも携わっていく予定です。若輩者であり多々至らない点あると思いますが何卒宜しくお願い致します。



看護師長
辻 好美

4階回復期リハビリテーション病棟看護師長を拝命した辻です。急性期病院での臨床経験や看護教員、看護管理の経験などを活かして頑張りたいと思います。当病棟では、患者さんが安心してリハビリに取り組みめるよう二次合併症の早期発見や予防はもちろん、気持ちに寄り添いながら「出来る能力」が「している能力」になるよう看護しています。看護師のアセスメント力や調整力の向上に努めながら他職種との連携をより一層強め、チーム力が十分発揮されるよう支援したいと考えます。どうぞよろしくお願い致します。

新入職員 入職

おおぞら病院に
4月新たなメンバーが
加わりました。



医師1名、セラピスト13名、看護師3名、保健師1名、臨床検査技師1名、事務職員1名、ケアワーカー2名です。職員一同これからも、地域の皆さまに親しまれ、信頼され、満足できる病院を目指します。(総務/阿部)

第4回写真コンテスト開催!

今回のテーマは「春」です。花を中心とした様々な春の風景作品がありました。多数の応募作品の中から2名が選ばれました。(広報企画委員会)

〈最優秀賞〉井上 愛(医師) 作品タイトル:春と空
※写真は本表紙に掲載
「コロナ禍の総合運動公園です。若葉に萌え空には光が満ちていました。」

〈優秀賞〉長尾 葉月(医事課) 作品タイトル:夜桜
「城山に登った際、景色がきれいだったので撮ってみました。」



病院を支える 裏方さん Vol.1

今回は、院内の環境整備、警備業務を担当する株式会社長崎商事様のスタッフをご紹介します。患者さんが安心・安全で快適に病院での生活ができるように日々対応していただいております。



ベッドシーツ交換作業



清掃作業



警備業務

診療担当医表 (2022年4月1日～)

外来診療		月	火	水	木	金	土
一般内科	午前	○	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○	
糖尿病	午前	吉田直彦	山岡真美	吉田直彦	吉田直彦	吉田直彦	
	午後	堀 和子	吉田直彦				
呼吸器 睡眠時無呼吸症候群(SAS)	午前	刈田美夏	刈田美夏		刈田美夏		
	午後						
消化器	午前	中村由子	宮本安尚	鎌井順二	鎌井順二	吉田直彦	
	午後					鎌井順二	
脳神経	午前	須賀正和		須賀正和	富田仁美	富田仁美	
	午後		富田仁美			須賀正和	
整形外科	午前	萩山吉孝	河田典久	河田典久	河田典久	萩山吉孝	
	午後	河田典久				河田典久	
乳腺 (予約制)	午前	村上朱里	野田令菜			亀井義明11:30~	女性医師
	午後	村上朱里	野田令菜			亀井義明	
物忘れ外来(予約制)	午前	須賀正和		須賀正和	富田仁美		

受付時間

(平日)
8:30 ~ 12:30
13:30 ~ 17:30
(土曜日)
8:30 ~ 11:30

※胃カメラは毎日行っています。
(午前のみ)
当日でも予約状況によりお受けできます。
お電話でお問い合わせください。

※乳腺外来・物忘れ外来は予約必須です。

基本方針

1. 患者さん中心の医療 「笑顔であいさつ」を心掛け、患者さん中心の心の通った医療を行います。
2. 質の高いチーム医療 「専門職としての知識・技術の向上」に努め、質の高いチーム医療を実践します。
3. 地域に貢献できる医療 「ともに生きる」の精神で、地域の皆さまと共に安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。



理念

私たちは、地域の皆さまに
親しまれ、信頼され、
満足される
病院を目指します

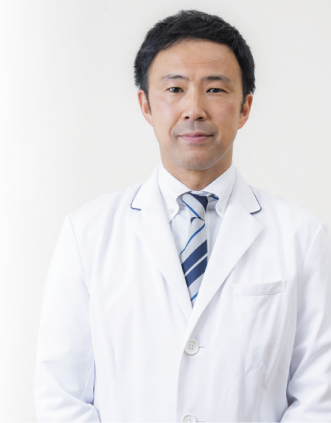


特集:そらのお仕事 理学療法士・作業療法士

第4回 おおぞら病院写真コンテスト(テーマ「春」) 最優秀作品賞:井上 愛(医師)

新型コロナウイルスの流行が始まってから3度目の新年度を迎えました。現時点では感染状況は高止まりしており、世間でもafterコロナというよりは、withコロナ戦略が進んでいるように思います。この3年の間に、短期間での感染対策の確立・周知やワクチン開発、治療薬の出現など、医療技術の飛躍的な進歩を目の当たりにし、また改めて正しい情報をいち早く得ることの大切さも分かりました。当院は回復期リハビリテーションを中心とした医療提供を行っていますが、感染症以外の分野でも医学は進歩し、多くの命が救えるようになってきているからこそ、救命後の患者さんの生活復帰や社会復帰を支えるリハビリテーションの重要性は増えています。今年度は医師、保健師、看護師、ケアワーカー、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医療事務など、多職種の22名に就職して頂きました。それぞれの専門性を生かしつつ、みんなで連携して、チームで患者さんの治療に当たり、1人でも多くの皆さまに元気になっていただけるよう精進して参ります。今年度もどうぞ宜しくお願い致します。

おおぞら病院 院長 吉田 直彦



そらのお仕事

理学療法士

Physical Therapist

理学療法とは病氣、けが、高齢、障害などによって運動機能が低下した状態にある人々に対し、運動機能の維持・改善を目的に運動、温熱、電気、水、光線などの物理的手段を用いて行われる治療法です。当院では最新の電気刺激装置や振動刺激装置を併用しながら積極的な運動を行ない、早期の身体機能向上に努めています。また脳卒中に対する促通反復療法や装具療法、糖尿病患者の教育入院中の運動・生活指導にも力を入れています。

詳しくはこちら▶



部分免荷式トレッドミル歩行トレーニング(BWSTT)をしています!

部門内は明るく常にコミュニケーションが取れる雰囲気です。



促通反復療法しています!

何か困ったことがあったらすぐに相談できる先輩が沢山います!

作業療法士

Occupational Therapist

作業療法士は、日常生活を送る上で必要な心身機能の回復を促し、患者さんが食事、着替え、入浴といった身の回りの動作を主体的に行えるためのサポートを行う専門職です。当院では、生活場面での身の回りの動作に加え、家事動作、立地を活かした屋外移動や公共交通機関利用の練習など患者さん1人ひとりに適した練習を行っています。また、認知症や高次脳機能障害の方の生活能力を高める取り組みや、生活支援についても関わりを持っています。

詳しくはこちら▶



患者さんの心の支えになる仕事です!

Staff

乾 晴登

いぬい はると / 在職2年目



患者さんの社会復帰をお手伝いします!

Staff

稲田 莉沙

いなだりさ / 在職2年目



仕事のやりがい

入院された患者さんは、「いつ帰れるのだろう」、「本当に治るのだろうか」と不安な気持ちでいっぱいだと思います。そういった患者さんの心の支えになるためにも正確な身体機能評価、最適な治療プランの立案・提供が必要となります。そこで患者さんの求めている医療提供への責任感を感じました。また、入院当時できなかったことがリハビリを通して出来るようになることと患者さんの表情が明るくなり笑顔がみられるようになります。その笑顔を見る度にすごくやりがいを感じます。

今後の目標

これからも患者さんに笑顔で社会復帰していただけるよう専門知識・技術の自己研鑽に努めたいと思います。また、他職種との連携を用いてより質の高い医療提供ができるようチーム全体で患者さんのご支援をしたいと思います。



電気刺激治療



実技の研修



他職種カンファレンスの様子



住宅シミュレーション室での練習



装具を使っての歩行訓練をしています!

理学療法士・作業療法士の

一日の流れ

8:00 — 8:30 — 8:40 — 11:50 — 12:00 — 13:00 — 16:55 — 17:30

出勤 朝礼 AMリハ 昼休憩 PMリハ 夕礼

- ・マシンリハ点検、タオル準備など
- ・介入患者の情報収集



- ・新患評価
- ・カンファレンスなど

- ・カルテ記載
- ・明日の準備など

CoCoroeAR2上肢ロボットを使用しています!



仕事のやりがい

入職した当初は麻痺や筋力など身体機能面を中心に考えてしまい患者さんの退院後にうまくつなげて生かすことができていませんでした。今は退院後の患者さんの「活動」や「参加」を考え、それらに必要な機能を向上させるためのリハビリを考え、という一連の流れを通して考えることが出来始めたと感じています。視野が狭く悩む事も多いですが先輩からアドバイスを頂いたり、親身に相談に乗ってくださるため少しずつ自分の引き出しが増えてきたように思います。

今後の目標

今後も自己研鑽しながらOTとしての視野を広げて行きたいです。